

熱弁！県知事賞受賞

2018年6月1日（土）

5月末に嬉しいニュースが飛び込んで来ました。

5月27日に県立太田第一高等学校で行われた「県高等学校春季弁論大会」において、本校生徒が優勝し見事知事賞を受賞しました。

この大会は県高等学校文化連盟弁論部会主催で、県立9校の弁士計20人が登壇し、社会問題や世相、生き方などさまざまな演題で主張が繰り広げられました。1人7分の持ち時間の中で、体験や身近な出来事を交えながら、それぞれの問題意識や解決策、提案などをまとめて発表します。

本校生徒は、一つの社会問題を捉えた演題で、その防止には社会全体の連携した取り組みが必要と訴えました。高校生が、高校生の目線から社会問題をみつめ、その防止策を熟慮して人前で発表する。声に出すことは勇気のいることですし、容易いことではありません。素晴らしい取り組みですし、挑戦する姿にエールを送らないではいられません。

優勝と準優勝の2人は、8月に長野県で開かれる全国高等学校総合文化祭弁論部門に茨城県代表として出場します。自分らしく心のままに挑戦し、素敵な思い出を残して下さい。

元南アフリカ共和国大統領のネルソン・マンデラ氏は

「大きな山を登った後にだけ、人はさらに登るべきたくさんの山があることを見出す」

と言いました。

全国という新たな舞台に立ち、多くの事を学んで来て下さい。

健闘を祈っています。



（平成30年5月30日茨城新聞より）